

「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2019年日本平和大会in沖縄」 成功に向けた呼びかけ

2019年5月17日 2019年日本平和大会第1回実行委員会

平和を愛する全国の仲間のみなさん。

私たちは、今年11月8、9日の両日、米軍新基地建設に反対する県民のたたかいが安倍政権を追いつめる沖縄で、「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2019年日本平和大会 in 沖縄」を開催します（主会場・豊見城中央公民館）。

いま、沖縄県民のたたかいは、確実に安倍政権を追いつめています。昨年9月の県知事選挙では、新基地阻止・普天間基地撤去の「建白書」実現に尽力されてきた故翁長雄志知事の後継者・玉城デニー氏が圧勝しました。今年2月の県民投票では、県知事選挙で玉城氏が得た票を上回る43万人、投票した人の約72%が辺野古新基地・埋め立て「反対」の意思を示しました。さらに3月の衆院補選でも、「辺野古新基地推進」を明言した自公候補に、「建白書」実現の立場に立つ候補が勝利しました。

安倍政権は、この圧倒的民意に背を向け、しゃにむに新基地建設・埋め立て工事を強行していますが、その暴挙に沖縄と全国で批判の声がいつそう高まっています。政府は、埋め立て予定地に広がる軟弱地盤とその大規模な地盤改良工事の必要性を認めざるを得なくなったにもかかわらず、工事期間も経費も明示できない事態に陥っています。

沖縄県民のたたかいは、民主主義と地方自治を守り、「戦争する国づくり」を許さない全国的な意義を持っています。また、立場を超えた広範な県民が力を合わせる姿は、市民と野党の共闘で安倍政権を追いつめる全国の運動の先駆けです。

沖縄で開かれる今年の日本平和大会は、沖縄県民の運動と固く結んで、安倍9条改憲・日米軍事同盟強化・「戦争する国づくり」の動きをはね返す運動を発展させる大会です。

安倍9条改憲NO！3000万署名運動などの広がり、憲法審査会への自民党改憲案の提示はいまだに阻まれています。全国各地で米軍・自衛隊基地強化に反対する住民運動が沸き起こり、日米地位協定の見直しを求める全国知事会の提言を支持する地方議会決議も広がり始めています。5年間で約27兆5千億円という史上最大の軍拡に対し、「軍事費削って暮らしに」「消費税増税やめよ」の声が広がっています。憲法9条を持つ国として日本政府が今やるべきは、核兵器禁止条約への署名、そして非核・平和の朝鮮半島実現への貢献です。

草の根の運動をさらに広げ、市民と野党の共闘を発展させ、来る参議院選挙で安倍政権に厳しい審判を下しましょう。その上に立って、2019年日本平和大会 in 沖縄に向け、さらに運動を発展させ、安倍政権を退場に追い込もうではありませんか。

2019年日本平和大会は、沖縄の現実とたたかいをその目でしっかりと学び、全国の運動を豊かに交流し、さらに発展させる大会です。また、憲法と平和を脅かす根源にある日米軍事同盟（日米安保条約）をなくしてこそ、核兵器のない平和なアジアと世界を築く展望が生まれることを、学び、広げる大会です。この大会に全国から青年をはじめ多数の参加者を送り出しましょう。そのために、今から準備を開始し、実行委員会をつくり、共同の取り組みとして成功させましょう。